



1964
公募作品 奨励賞
操上和美



1962
公募作品 APA賞
西宮正明



1961
会員作品 金丸賞
岩宮武二



1961
公募作品 APA賞
篠山紀信



APAアワード2015 応募作品の審査によせて

それは多少なりとも、時代背景が影響しているのではないだろうか。APAアワードの前身であるAPPA展がスタートしたのは1959年のことだ。この頃から、日本経済は高度経済成長の波に乗り、広告費も年々右肩上がりに伸びて、広告写真そのものが空前の活況を呈するようになった。篠山紀信、立木義浩、横須賀功光、高梨豊、操上和美、沢渡朔、浅井慎平、その後の写真界をリードする写真家たちが次々に登場し、広告写真

のところが何年か続けて、APAアワード写真作品部門の審査を担当してきた。毎回さまざまな発想で、技術的にも高度な作品が寄せられるので楽しみにしてきたのだが、いつも思うのは、このコンペの潜在的な可能性はもっと大きいのではないかとということだ。どこかおとなしく、力を出し切っていない作品が多いように感じるのだ。



飯沢耕太郎
(写真評論家)



2010
APAアワード2010 経済産業大臣賞
[伊藤忠商事(株)] 馬場道浩



2009
APAアワード2009 経済産業大臣賞 [(独)都市再生機構]
白鳥真太郎



2008
APAアワード2008 経済産業大臣賞 [三洋電機(株)]
西田宗之

広告作品部門



2014
APAアワード2014 経済産業大臣賞 [日本航空(株)]
早川倫永



2013
APAアワード2013 経済産業大臣賞
[ラフォーレ原宿] 戎 康友



2012
APAアワード2012 経済産業大臣賞 [TIFFANY&CO./
Leslie Kee] Leslie Kee



2011
APAアワード2011 経済産業大臣賞 [(有)ひょうどう
工芸] 北川礼生



1967
会員作品 銅賞
中村正也



1967
会員作品 銀賞
操上和美



1965
会員作品 銅賞
篠山紀信



1965
会員作品 銅賞
杵島隆



1965
公募作品 APA賞
浅井慎平



1982
日本の広告写真1982 APA Prize [サントリー (株)]
坂田栄一郎



1982
日本の広告写真1982 APA Prize [サントリー (株)] リチャード・アヴェドン



1974
公募作品 特選賞
鬼海弘雄



1968
会員作品 金賞
鋤田正義

もちろん、その活況をいま取り戻すのはなかなかむずかしいかもしれない。当時とは写真を取り巻く環境がまるで違ってきている。しかし気持ちの持ちよう一つで、うっとうしく、閉塞的な時代の気分を風穴をあけることができるのではないだろうか。1992年のAPPA展では「ナ

写真家たちは何でも好きにやれる自由を手に入れている

を足がかりにして世に出て行った。APPA展は、むろんその登竜門として大きな役目を果たしていた。篠山、浅井はそれぞれ1961年、65年にAPPA賞を受賞しているし、操上は1964年に奨励賞を受賞して本格的にデビューしている。リチャード・アヴェドン、アービング・ペン、デボラ・ターバヴィルなど、国際的に活動する写真家たちにもきちんと目配りしていた。1971年には、公募の宣伝を兼ねてヌードモデル100人を東京球場に集めて大撮影会を開催した「ヌード大写真展」は、さまざまな媒体に取り上げられて大きな話題を集めた。APPA展そのものが社会的な事件となったのだ。

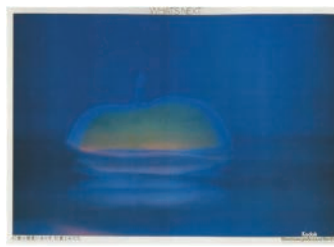
を足がかりにして世に出て行った。APPA展は、むろんその登竜門として大きな役目を果たしていた。篠山、浅井はそれぞれ1961年、65年にAPPA賞を受賞しているし、操上は1964年に奨励賞を受賞して本格的にデビューしている。リチャード・アヴェドン、アービング・ペン、デボラ・ターバヴィルなど、国際的に活動する写真家たちにもきちんと目配りしていた。1971年には、公募の宣伝を兼ねてヌードモデル100人を東京球場に集めて大撮影会を開催した「ヌード大写真展」は、さまざまな媒体に取り上げられて大きな話題を集めた。APPA展そのものが社会的な事件となったのだ。



1986
日本の広告写真1986 APA Prize [富士写真フィルム (株)] アービング・ペン



1984
公募作品 特選賞
鈴木英雄



1984
日本の広告写真1984 APA Prize [長瀬産業 (株)]
高井哲朗



1982
公募作品 奨励賞
鶴田直樹



1988
日本の広告写真1988 APA Prize [林原生物化学研究所] 十文字美信



1986
日本の広告写真1986 APA Prize [サントリー (株)] 漆畑銃治



1986
日本の広告写真1986 APA Prize [(株) パルコ] デボラ・ターバヴィル



1990

日本の広告写真1990 APA Prize [サントリー (株)] 早崎治



1990

日本の広告写真1990 APA Prize [金羊社] 広川泰士



1988

公募作品 特選賞
カーティス・ナップ



1988

公募作品 奨励賞
舞山秀一



2000

日本の広告写真2000
優秀賞APA [(株) 資生堂] 中村成一



1998

日本の広告写真1998 優秀賞APA [Come Together for Kobe 事務局] 横木安良夫



1995

公募作品 準APA賞
瀧本幹也



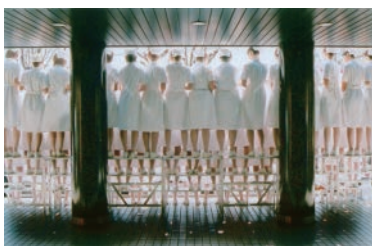
1992

日本の広告写真1992 APA Prize [ラフォーレ原宿] 白鳥真太郎



(本稿は「APANEWS 139号」に掲載した文章を改稿したものである)

デジタル化の状況において、写真家たちは自分のやりたいことを、「ナンデモアリ」で好きなようにやることができる自由を手に入れている。その自由を使うか使わないかは、ひとえに写真家一人一人のやる気にかかっている。今年もぜひ精一杯チャレンジして、審査員や観客の心を揺り動かすような作品を発表してほしい。日本の広告写真の底力は、こんなものではないはずだ。



2011

APAアワード2011 文部科学大臣賞
沼上泰三



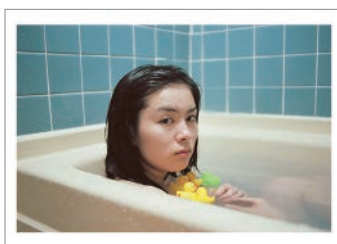
2010

APAアワード2010 文部科学大臣賞 宮崎麻衣子



2009

APAアワード2009 文部科学大臣賞
名畑文巨



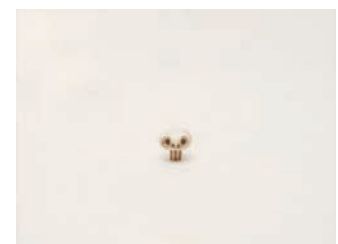
2014

APAアワード2014 文部科学大臣賞
田部仁美



2013

APAアワード2013 文部科学大臣賞
RYAN CHAN



2012

APAアワード2012 文部科学大臣賞
眞野 敦